

水を楽しむ

上勝は豊富な水に恵まれています。川では鮎を獲ることができ、力強い趣に満ちた滝があり、また疲れた足を冷やすのにぴったりの冷たい小川が流れています。

勝浦川

勝浦川は上勝の中心を流れています。勝浦川の岸に沿って、赤い斑点のあるサーモン（アメゴ）が釣れる殿川内溪谷や、鮎（アユ）が釣れる月ヶ谷温泉周辺の地域など、良好な釣り場がたくさんあります。地元の店では、トモヅリと呼ばれる伝統的なおとり漁法でアユを捕まえるために使うおとりとして、生きたアユを売っています。ゆらゆら橋付近のエリアには、澄んだ浅瀬の中で休憩できる、あまり知られていないスポットがあります。

旭川

これはもう一つの釣果の期待できる川です。江戸時代（1603-1867）には、八重地の旭川と12キロ離れた野尻の稲田を繋ぐため、手掘りのトンネルが建設されました。この灌水システムは現在も機能しています。

美愁湖

この湖は1977年度に勝浦川上に正木ダムが完成した際に形成されました。湖でのアクティビティには、カヤックや釣りなどがあります。

灌頂ヶ滝

この80メートルある滝は慈眼寺に向かう道の途中にあります。水しぶきを通る日の出は屈折して虹を形成し、色のしぶきをその景色に加えます。

百間滝

この30メートルの滝を眺めることのできる滝つぼへと続く遊歩道があります。

ふいご滝

この滝の下にある滝つぼは岩壁に囲まれており、その景色をさらに力強いものにしています。

雄淵と雌淵

雄淵では流れ落ちる水のとどろきが空気を満たし、一方さらに下流にある小ぶりの雌淵は遊歩道から見るができます。

天泊りの淵

この滝は落差10メートルほどですが、非常に大きい滝つぼを持っています。